

移住者新聞

2025
Vol.1.4

二〇二六年三月
発行：日田市
商工労政課
雇用移住促進係



令和6年に福岡県大野城市から日田市にIターン移住した古賀さん家族。
自然の中の子育てと趣味のバンド活動を満喫し日田を盛り上げてくれています。

◆移住後の暮らし

令和六年に福岡県大野城市から移住しました。空き家になっていた妻の祖父の家で家族四人で暮らしています。もともと父が日田と大野城の二拠点生活をしていて、よく日田も来ていたんですが、たまたま見た日田の情報誌で「おひさまのら」（前津江町の森や里山を拠点に活動する森のよう

ちえん）を見つけ子どもを通わせたいと思います。すぐに体験入園。自然の中でいきいきと過ごす子どもを見て、予定を前倒して日田に移住してきました。子供が毎日山や川など自然の中で楽しく成長してくれて嬉しいです。おひさまのはらの保護者の半分以上が移住者であることにも驚きました。



森のようちえんは自然の中で五感を使った遊びを通じ生きる力や主体性を育む

仕事はコロナ禍以降テレワークをしていて、妻も移住を機にテレワークで仕事をしています。

日田市には毎年多くの子育て世帯が移住してきています。ぜひ日田のきれいな水や温泉、自然豊かな環境の中で、のびのびと子育てをしてみませんか？日田ならではの地域の繋がりと子供にとっての豊かな経験となり成長に繋がりますよ。今号は福岡県大野城市から移住し、自然の中での子育てと趣味の音楽活動を通じて、充実した日々暮らしを送っている古賀さん家族取材しました。

◆現在取り組んでいること

家族で趣味の音楽を楽しんでいます。私は高校の頃からベースを演奏していて、日田に移住してから知り合った人に誘われて「フアンシーシングス」と「てなあん」というバンドに所属しています。日田市のイベントやライブハウス、地域のお祭りに出演しています。妻もジャズシンガーで、日田の方とコラボしながらイベント出演しています。

七歳の長男もドラムを演奏します。家にドラムセットを置きたかったのも戸建て住宅を選んだ理由の一つです。昨年は家族で日田いち（ほぼ毎月開かれる地域密着型のマルシェ）への出演も果たしました。「おひさまのはら」で知り合った保護者の方はいろんなことをしている人が多いので、誘われていろんなところに顔を出してたくさんの方と繋がれました。



バックナンバーはこちら

◆おすすめの場所

中津江村にある下笠ダムがお勧めです。子供が「奥日田PADDLE & WHEELS CLUB」というサップなどのアウトドアスポーツを楽しむクラブに所属していて、親子で下笠ダムをサップで下っていくのがとても楽しいです。特に紅葉の時期のツーリングは絶景ですよ。

子どもとよく出かける萩尾公園も木を使った遊具があり空気も綺麗でお気に入りです。



下笠ダムでのサップ



木の遊具が楽しい萩尾公園

◆ひた暮らしで伝えたい事、知ってほしい事

移住者を受け入れてくれる人がとても多い印象です。田舎暮らしとなると地域のしきたりであったり受け入れてもらえるかなどが心配で、日田の皆さんとなじめるか不安でしたが、とてもウエルカムな雰囲気でした。日田は受入体制がしっかりしている地域なので心配しなくても良いと思います。暑さ寒さは福岡に比べるとすごいと感じましたが、家の近くが川なので暑さはしのげています。子供たちも庭でプールなどして楽しんでいます。



「日田祇園」など地域の祭りもたくさん経験しました

◆今後の目標

家族で趣味でしているバンド活動で日田のイベントに出演して日田を盛り上げ恩返しをしたいです。
またせっかく移住したのでDIYや農業など自分でできることをしたいです。地域にお年寄りが多いので、農業を引き継いだり家の修理もやってみたいですし、積極的に地域活動をしていきたいです。



古賀さんは令和7年移住者交流会皆勤賞!(女子会・運動会・忘年会・餅つき大会)
日田市はご家族で参加できる交流会もたくさん開催しています!